



## 自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

2/26 (火)

テーマ：『「気づき」日々好日』

出席23社23名  
(美浜15、他会8、非会員0)

講師：白井市倫理法人会 専任幹事 駒村 武夫 氏



Takeo Komamura

とても生き生きと輝いている駒村氏が印象的。MS後は、美浜の備品を修理してくれた。

### 大ヒット商品を生み出す駒村氏

今日入社したら、『入会承認証』のフレーム(額)をまず見て欲しい。MSの場合であれば、『実践の決意』でも良い。ネジやドライバーなどの道具がなくても簡単に中身の入れ替えができる。

実はこのフレームを発明し商品化したのが、駒村武夫氏だ。他にも「ユビラーク」(指に被せる指圧器)など、3000万個以上販売されている大ヒット商品を、駒村氏自身が生み出している。

だが、生み出した商品が優れたものであればあるほど、粗悪で安価な偽物が多数出てくる。また信頼して預けた情報がリークされる等、今回のテーマは、そうしたプレッシャー(苦難)を乗り越えて得た「気づき」だ。

### 昭和40年 社会への旅立ち

駒村氏は高校を卒業した昭和40年に、アシスタントデザイナーとして就職した。「3年で戦力になれるように、先輩の仕事を見て覚えなさい」と言われたが、横でジッと見ていては先輩も迷惑だろう。入社1年目にして、「仕事がないことは辛いな」と感じた。

また、初めて頂いた待望のデザインの仕事が来たら、先輩からは「こうやれば良いのだ」と、決まったやり方を指導された。そのやり方だと確かに早くて楽だが、デザイン性に欠ける。より良いデザインへ、こだわりの気持ちを捨て

切れず、自分が本当に良いと思うデザインをさせてもらえるよう、粘り強く努力し実現した。するとある日、「駒村というデザイナーにデザインしてもらいたい」という付箋の付いた図面が廻ってきた。アシスタントではあったけれど、自分なりにベストを尽くした初仕事。「この喜びが社会人としての第一歩で全てだった」という。

2年目に、入社時の夢であった電電公社から押しボタン電話機のデザインの仕事があった。既に先輩諸氏による6点のデザインが出来ていたが、もう1点ということで氏に仕事が行った。先輩には「数合わせだから」と言われたが「僕は10倍やろう」と喜び、感動し寝る間を惜しんで取り組んだ。そして駒村氏のデザインが採用された。

先輩は、「僕が協力するから担当でやりなさい」と励ましてくれた。また母は常々「やるなら喜んでやりなさい。嫌々やるならやらない方がいい」と言っていた。葉にもあるが、「困ったことが起きても、それを喜んで受けてやれば必ず良くなる」と。

### 独立、苦難、そして気づき

後年「紙とエンピツからの創業」が始まった。冒頭に書いたように、駒村氏はフレームや「ユビラーク」などの大ヒット商品も生み出した。一見順調そうに見えるが、実は大変なプレッシャー(苦難)を経験してきて今がある。

たとえば、試行錯誤の末やっとの思いで特許を取得した「ユビラーク」では、販売を委託していたPR会社の人から、「自分の特許だ」と勝手にテレビ局に持ち込み、関西で100万個使われ、既に一勝負終わっていると告げられた。偽物も6種類出て、人間不信になりそうだったという。またフレームでは、試作依頼先が情報をリークしたり、大手通販会社は類似品を引き合いに、値下げを取引継続の条件にしてきた。

だが、駒村氏は値下げに応じず販路を失った。そして今、こう考えている。確かに市場を失うのは苦しい。でも、そのおかげで今、新しい技術を見つけられたし、オリジナリティを大切にしてくれる会社も出てきてくれた。嫌なことも、「これが良い」に変えていこう。また偽者が出るのも、良い商品の宿命だと。

駒村氏は言う。「葉に全て書いてある。希望は心の太陽、人がだめになるのは、希望を失う時。自己体験を葉に重ね合わせると、色々なことに気づく。葉に感謝」。

次回 第867回MS! 3/4(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-7777)

テーマ：『四人の丸山先生』

講師：勝浦市倫理法人会 相談役 江澤 廣 氏

できるできるやればできる！  
明るく楽しくなければ倫理じゃない！  
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく